

東北

◇ 仙台支局 ◇
仙台市青葉区本町1丁目2-20
KDX仙台ビル3階
☎022(227)0685
FAX022(224)7485

BCP策定へ先例学ぼう

登別協組 熊谷燃料住設を訪問

登別組合は登別市に災害時のエネルギーとして、の優位性を強調してLPGガス設備を提案。都市方



から供給を始めている。東日本大震災前から市と災害時の支援協定を結び、今年、市の防災会議のメンバーに加わった。

熊谷燃料住設は2009年にBCPを策定した。熊谷社長はその理由を三陸南地震、宮城県南部地震、岩手宮城内陸地震と大きな地震が続き、宮城県沖地震が「30年以内

熊谷燃料住設(本社・登米市、熊谷敏明社長)を1日、登別ガス協同組合(本部・登別市、斎藤正史理事長)の理事と職員7人が訪問し、事業継続計画(BCP)策定や災害時でも供給を継続する体制を研修した。

熊谷燃料住設は2009年にBCPを策定した。熊谷社長はその理由を三陸南地震、宮城県南部地震、岩手宮城内陸地震と大きな地震が続き、宮城県沖地震が「30年以内

内地震時対応マニュアルはあったが、電気も電話も通じ、全社員無事なことを前提として、本当の大規模災害を想定していなかった。これでは深刻な有事には対応できないと気づいた。

熊谷社長は「会社が深刻な被害を受ければ、それまでと同じように事業を継続することはできなくなる。BCPではこれだけは継続するという事業を決め、当社はLPGガスを供給していた」と語り、震災時に灯油がなくて困っている人がいたが灯油供給の業務はやめてLPGガスの復旧に集中し

池に貯め、その電気でモーターを駆動させて走行する。今回、発電するエンジンにガソリンとLPGガスのバイフューエルにした。これまでのバイフューエル車と同様にLPGガス容器を床下に設置、室内も荷台スペースも改造前と変わらない。

実燃費はリッター24〜25キロでガソリンもLPGガスも変わらない。消費するのはほとんどLPGガスで「2キロほど走行してガソリンは5程度減るだけ」(小松社長)という。このためガソリンとLPGガスの価格差がそのままランニングコストの



ねぶた祭でLPGガスをPRするENEOSグローブエナジー北日本支社の社員ら

青森ねぶたで存在感

「電気を使わないスト」を交えて説明した。

「ノートe-POWER」改造認可を取得

LPガス併燃で経済性発揮

「ノートe-POWER」は7月6日、日産「ノートe-POWER」のLPGバイフューエル車の改造認可を取得した。ノートe-POWERはエンジンで発電し、それを蓄電

池に貯め、その電気でモーターを駆動させて走行する。今回、発電するエンジンにガソリンとLPGガスのバイフューエルにした。これまでのバイフューエル車と同様にLPGガス容器を床下に設置、室内も荷台スペースも改造前と変わらない。

実燃費はリッター24〜25キロでガソリンもLPGガスも変わらない。消費するのはほとんどLPGガスで「2キロほど走行してガソリンは5程度減るだけ」(小松社長)という。このためガソリンとLPGガスの価格差がそのままランニングコストの



タクシー会社向け展示試乗会
低ランニングコストだという。車両本体価格も180万円ほどで、タクシー車両として採用が増えているトヨタ・プリウスに比べ価格競争力がある。7月27日には同社に酒田市と鶴岡市のタクシ

安さにつながる。同社の「会社6社の関係者を集めた展示試乗会を開いた。

東邦液化ガスグループ までの接点を増やし、キッチン内の食器類は収

中登町役場で行った締



東邦液化ガスグループ までの接点を増やし、キッチン内の食器類は収